



# いつくしみの四旬節

大西勇史 助祭

私たちは「四旬節なんだから（いつもよりちゃんとしなきゃいけない）」とか「四旬節なのに（そんなことをして）」という言い方に代表されるように、四旬節に対して、うしろめたく、うつむいていれば安全かのようなイメージを持っているように思います。

このどことなく薄暗いイメージは四旬節の大きなテーマである回心という言葉からくるのではないのでしょうか。しかし、回心とは本来、愛である神に立ち返ることです。つまりもう一度「わたしはあなたを自分の子として愛している」という呼びかけを信じ直すということです。神はいつもそう呼びかけています。けれども、私たちはその呼びかけに慣れすぎて本当の喜びを受け取ることが出来にくくなってしまいます。また、様々な不安や失敗などから、「自分にはそんな価値はない」と思い込み、心を閉ざし神の声が聞こえにくくなったりもします。そのような状態からもう一度、向き直し、聞き、信じること。これが回心の恵み

です。

ここまではいわゆる例年の四旬節、回心と言えるかもしれませんが。しかし私たちは現在、いつくしみの特別聖年を生きています。教皇フランシスコは「いつくしみの特別聖年公布の大勅書 イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔」の17(P28)において「この聖年の四旬節を、神のいつくしみを祝いまた実践するための集中期間として、深く味わいながら過ごすことができますように。」と招いておられます。つまり私たちは、神のいつくしみを体験し、そのようないつくしみを分け与えなさい。という使命を受けたということになります。特に今年の四旬節はその集中期間であるということです。

ですから今年の四旬節は例年以上に神のいつくしみを深く味わう者でありたいと思います。神のいつくしみは、これを書いている罪深い私にも、これを読んでいる弱いあなたにも、教会には関係ないあの人にも等しく、無償で注がれる恩寵です。私たちが何か善い行いをしたので頂くというような報

酬ではありません。また、何かと引き換えに貰う。というような交換でもありません。私たちを愛してやまない神の側からの純粋なプレゼントです。

そのようなプレゼントを贈られるに値するほど尊い存在なのだということに喜び、そのような神のいつくしみに安心いたしましょう。そして、「四旬節なんだから愛である神をいつもより一層信じてみよう」とか「四旬節なのに神のいつくしみを疑ったら勿体ない」と言うようにしてはいかがでしょうか。そして、イエスが12人を派遣するにあたり言われた「ただで受けたのだから、ただで与えなさい。」(マタイ 10. 8)というみ言葉を心に刻み、贈られたプレゼントを分け与えに参りましょう。薄暗い雲間にも差し込む光があること、その光がとても美しいことを私たちは知っています。今年は特に、その光を見つめながら過ごすことができますように。

今年の四旬節を感謝を込めて「いつくしみの四旬節」と呼びたいと思います。

# 思い出すことなど

宣教司牧委員 YO

昨年、信徒総会の承認を得て、新しい組織体制に試行的に移行して6ヶ月。ヴィタリ神父様のご指導と信徒代表のリーダーシップの下、信徒及び各活動組織の皆様のご協力をいただき、試行錯誤しながら活動してきました。不行き届きも多々あったと存じますが、ご寛恕ください。

さて、「平和の鐘」のNさんから宣教司牧評議会の評議員が輪番で原稿を書いてほしいと言われ、今月号は不肖私が担当することとなりました。

内容は何でもいいとのこと故、私たち家族が洗礼を受けた当時のことを書いてみたいと思います。

## 【 受洗のきっかけ 】

私たちが洗礼を受けるに至ったのは、長男が聖母幼稚園に入園したことに始まります。家内がシスター山田の母親向け聖書勉強会で、私はシスター山田の紹介でシスター景山の聖書勉強会

で勉強を始めました。程なくして、シスター景山から、「東京に転任することになった、ついてはこの際洗礼を受けませんか」といわれ、聖書もカトリックも分らないまま、Yさんご夫妻に代父母をお願いし、家族全員が野間神父様から洗礼を授けていただきました。

## 【 その後 】

このようないわば早産で未熟なまま信者になった私たちが曲がりなりにも教会から離れずにこられたのは、野間神父様、Yさんご夫妻のご指導やご近所にお住まいのOさんが雨の日などには車で教会に連れてきてくださるなど周りの皆さんの温かいご厚意のお蔭と感謝しています。教会を続けられたいまひとつの事情は、受洗後すぐに、神父様から会計の仕事をとられ、Yさん、Mさん両ご夫妻の指導を受け、会計を担当したことだと思えます。この仕事があればミサに行くの

が間遠になっていたかもしれませんが、仕事を通して、教会になじみ多くの信者の皆さんと知り合うことができました。

## 【 提案 】

新しく信者になられた方が、早く教会共同体を知り、なじむ良い方法は、何か教会の仕事をする事だと思えます。一種のOJT(体験育成活動)です。教会共同体を知ることが先で、教会の仕事はその後とのご意見もあると思えますが、私の経験から、上記のように思えます。理論よりは体験です。勇気を出してやってみてください。

そういえば、受洗間もない頃、偶々教会の庭で出会った野口司教様から、受洗の時期についてお尋ねがあり、今年の復活祭ですとお答えしたところ「じゃー、今は一番熱く燃えている時ですね、どんどん教会の仕事をしてください」といわれたのを思い出しました。

Report

# 広島地区「家族大会」 Y M



2015年11月15日(日) 祇園教会にて、信徒約270名が集まり、『家族大会†信仰～やっばり家庭から～』が開催されました。これは広島地区創立百周年(2023年)に向けた取組みの一環で、『家庭へのチャレンジ』2年目に、信仰を次世代へ伝えていくために私達に何が出来るかを考える場として企画されました。

午前中は、各教会学校から歌や劇などのパフォーマンスが披露され、手話で聖歌を歌った東広島教会からは、家族大会の目的のひとつだった「当日まで

の準備を通して、各家庭で(手話を練習しながら)神様を思う家族の時間が持てた」事を感謝する声がありました。

お昼は、祇園教会女性部のご協力によりカレーライスが振る舞われ、参加者全員で同じ食卓を囲むことができました。

午後は、子ども達は中プロ(中国ブロックカトリック高校生大会)のメンバーが企画してくれたゲームを、体いっぱい楽しんで、その100名以上の子ども達の歓声を聞きながら、大人は8つのグループで分かち合いを行いました。広島地区長ヴィタリ神父様から「家庭は人生の基礎、子ども達の基礎。家庭で子どもを育てていくために、言葉だけでなく時間をかけ、行いをもって示すことが必要。家庭での祈りは、神様が家庭に望まれていること

を思い出すために必要。」と提言がありました。

参加者からは「他教会の人と分かち合えたのが良かった。内容的にもっと深めることができたらと思った。これからも継続的に行なえると良い。(保護者)」「社会的立場や家庭での立場が違う人との分かち合いは初めてで、自分には無い考えを沢山聞けた。(青年)」などの感想が寄せられました。

最後に、みんなで聖堂にてミサを捧げ、いろんな世代の人が集まり、仲間の存在を肌で感じ、仲間の声を聞き、主の恵みをみんなで分かち合えたことを感謝し、それぞれの家庭に持ち帰りました。



## Santo Niño サント・ニーニョ 幼きイエス・キリストの集い

1月17日、各国出身の方々と共に、サント・ニーニョの祝いをしました。ミサ後、多目的ホールにて懇親会をしました。



### Santo Niño(幼きイエス・キリスト)の祭りの歴史

大航海時代にマゼランがセブに到達したとき、島の王に同盟を記念して渡したのがキリストの幼少の像「サント・ニーニョ」です。約300年にわたるスペインの植民地支配の名残でもあり、永きに渡りフィリピンの人々のカトリック信仰の中心とも言えるお祭りでもあります。



voices

## 教会学校クリスマス合宿

2015年12月19-20日、教会学校のクリスマス合宿が行われました。

ここ数年では初めてのクリスマス合宿であり、侍者の練習、クリスマスカードを作成、レクリエーションなど、とても楽しい合宿となりました。夕食は保護者の方の持ち寄りパーティ。食べきれないほどのたくさんの量があり、全員お腹がいっぱいになるまでおいしく食べることができました。

以下、中心となってくれた中高生の感想文です。

### SS (中1)

12月19、20日にクリスマス合宿がありました。今年のクリスマス合宿はご飯やレクなど、みんなで楽しいことができるようになっていたので、みんな楽しめたかなと思います。

来年も楽しいことが、もっと楽しめたらいいなと思います。



### MS (中2)

12月19日、20日に教会学校でクリスマス合宿がありました。

今年のクリスマス合宿はみんなで侍者の練習をしたり、保護者の方々が、つくってくれたおいしい料理をいただいたり、クリスマスカードを作ったり、レクをみんなでしたりと、とても楽しかったです。



### ES (中2)

昨年、12月19日と12月20日に開催されたクリスマス合宿では、クリスマスカードを作りました。参加者一人一人違うクリスマスカードを作るのを見て、これらを受け取る人はどのような気持ちになるのだろうか。ということを考えながら、楽しく作ることができました。この合宿を通じて、私は何かを人のために作るという貴重な体験ができました。ありがとうございました。

### KM (高1)

12月19、20日に教会学校のクリスマス合宿がありました。侍者の練習や、レクリエーションなど、みんなで楽しみながら侍者に関する勉強をしました。私は今年、小学生や中学生に教える立場だったのですが、わかりやすく教えることは、むずかしくて、少し戸惑うこともありましたが、みんなが合宿の前より侍者のことがわかったと思ってくれたらうれしいです。夜は保護者の方々が作ってくれたご飯を食べました。

バイキング形式だったので、食べ過ぎてしまいましたが、おいしかったです！

来年もこのような合宿を行えるよう、頑張っていきたいです。

### KY (高1)

12月19日、20日に教会学校で、クリスマス合宿がありました。今年のクリスマス合宿はレクをしたり、みんなでご飯を食べたりと、とても楽しいことがたくさんありました。特にレクは考えたり、説明したりするので、大変だったけど、その分達成感もあり、楽しかったです。



### 編集後記

【視点を変えると】  
恋歌演歌を運転中に聴いている司祭に「神父様そんな歌を何時も聞いて」と怪訝そうな修道女に曰く、何言ってんだよ、「貴方」のどこを「イエス様」と置き換えてごらんよ」「すごい祈りの歌だろう？」と・・・なるほど、ちょっと視点を変えると、恋歌も祈りに変革する！  
(の)